2025　年度 授業計画(シラバス)

| 学　　科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科 目 名 | 生体機能学Ⅲ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30　(1)　時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 視聴覚室等 |
| 担 当 教 員 | 金藤大三　木村 寛<br>高橋芳香　竹内充香 | 実務経験とその関連資格 | | | | |

《授業科目における学習内容》

看護の対象である人間の人体についての知識の基礎である人体の構造と機能を系統的に学習したり看護実践の根拠となる基礎的な正常人体の構造と機能,およびその学術用語を学ぶ。人体の構造と機能は体の正常な生体機能に関する学問であり、医学に携わる人間全般の基礎科目として重要である。生体機能学Ⅲでは、神経系、眼、耳鼻、口腔の構造と機能を中心に学習する。看護実践の根拠となる基礎的な正常人体の構造と機能,およびその学術用語を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%)　※評価割合　　脳・神経(50%)、皮膚・生体防御(20%)、視覚(15%)、聴覚(15%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

人体の構造と機能〔Ⅰ〕解剖生理　(医学書院)

《授業外における学習方法》

教科書やプリントを読んで理解しながら覚える。わからないことは調べ、授業で学習した要点をまとめる。

《履修に当たっての留意点》

各部位や器官の機能については系統的に理解していき、 病態と治療の講義の前に復習しておくこと。

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経を形作る細胞とその働きについて | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経の構造と働きについて | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経と脳神経について | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳の高次脳機能について | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動機能と下行伝導路について | | |

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚機能と上行伝導路について | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 末梢神経系(自律神経系体性神経系)について | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の機能と構造について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 視覚路と半盲、聴覚路と失語、味覚と摂食嚥下の神経機構について | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む<br>学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚【皮膚感覚，皮膚節，痛覚】について | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む<br>学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生体防御機能について① | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる。 | 教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備 | 授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む<br>学習した内容を要点整理のプリントで復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生体防御機能について② | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器の構造【視覚器：目】について | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器の機能【視覚：眼球，眼球付属器，網膜】について(高橋) | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器の構造【聴覚器：耳】について | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系の機能について説明できる。 | 教科書<br>配布資料<br>視聴覚教材 | 教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分)<br>授業で学習した内容の要点を整理する。(30分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚器の機能【聴覚，前庭感覚と平衡】について | | |